



若ママ応援！[若年妊産婦支援促進事業]／ 社会全体でこどもを育む[社会的養護と自立支援]

沖縄県は10代女性の出生率が、全国平均の2倍！

本県における10代女性の出生率は1.3%で、全国の0.6%と比較すると2倍以上※にあたる。

10代で妊娠・出産した女性（若ママ）を支え、その自立を応援する県の取組は、令和4年度からスタートしました。

これまで行ったアンケート調査では、市町村担当者の

社会的養護から自立へ。

県では、里親や児童養護施設などで生活しているこどもたちが、退所後も安全・安心に暮らせる環境を保障し自立していけるよう、社会的養育の体制整備の方針を定める「沖縄県社会的養育推進計画」を令和7年3月に策定しました。計画に基づく主な取組を3つ紹介します。

1 こどもに寄り添う 給付型奨学金

児童養護施設などを退所し、進学を希望する場合に、入学金や授業料を無償で給付し、夢の実現に向けた学びの機会を保障。



2 普通自動車運転免許 取得費用の一部免除

県内21の指定自動車学校が、公費助成ではなく独自に取得費用の一部を免除。児童養護施設や里親、ファミリーホームで生活している高校3年生が対象。

3 社会的養護自立 支援拠点事業

社会的養護経験者が気軽に立ち寄れる交流の場。生活・就労・人間関係など幅広い相談に対応。関係機関と連携し、地域全体でこどもの未来を支える。



アフターケア
相談室
ホームページ



※令和5年度
年人口動態統計

ま届けたい情報を発信しています。
ぜひ一度、おきなわの若ママ応援アカウントにアクセスしてみてください！フオロもお待ちしています！



おきなわの若ママ
応援アカウント
Instagram
@oki_wakamama_ouen

表紙

読者の声（美ら島沖縄12月号）

●「とよみ大橋？瀬底大橋？」と思い、県内の橋をネットで探してみたり。空の色がグラデーションで美しく目をひきます。

特集：県職員の給与の状況

● 自社の採用活動の参考になりました。

戦後80年記憶と未来のタイムマシン

● 沖縄独特のお歳暮の歴史、意味がわかり、大変興味深かったです。

Fun Fan Local [与那国町]

● 去年の夏に初めて与那国島に行きました。すごく面白い島だったので、今回のトリビアを読んでまた行きとなりました。

県の動き4 スマホアプリでちょっとした健康づくり

● オーロラアプリを取ろうか、迷ってます。どんな事が出来るか、詳しく教えて欲しいです。

沖縄県の地域外交について

● 県がどんなことをしているのか、わかりやすかった。県の取り組みで知らないことが沢山あるなと感じました。子供たちの学びや将来の夢にも繋がると思うのでどんどん発信してください。

今後取り上げてほしい内容

● 沖縄の独自の行事の歴史を取り上げて欲しいです。なぜ始まったのか、どういう流れで今の形になったのかなど、ムーチー、トウシビー、13祝いなど起源を意外と知らない事も多いので知りたいです。

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページでご覧いただけます。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。



沖縄県 バス モノレール
バス通学費等支援

入学前申請
2/9 月から

